

「福音こそ救いをもたらす神の力」

(ローマ1・16～17)

一、福音を恥としない

16節をご覧ください。私は福音を恥としません。とあります。この表現は、相手に配慮したことばかりと考えます。意味としては「私は福音を誇りとしません」だからです。ローマに興された教会は、少数のユダヤ人キリスト者と、多数の異邦人キリスト者から成っていたようです。生まれながらの異邦人にとっては、福音は実に愚かな教えでした。そのことは、コリント人への手紙に書かれています。「十字架のことは、滅びる者たちには愚かである」(1・18)、あるいは「神は、宣教のことは愚かさを通して、信じる者を救うことにされた」(1・21)と。福音は、人間の知恵から見るなら愚かなことばなのです。1世紀の時代も今日も同じです。

二、もう少し掘り下げて

16節を、もう少し掘り下げて受け取ってみたいと思います。私は福音を恥としません。には、「なぜなら」を意味する接続詞が付いています。ということは、パウロが私は福音を恥としませんと語ったとき、その前の節につながっているわけです。15節で「ですから

私としては、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。」と語り、「というのは、福音は愚かしいことばに聞こえるかも知れませんが、決して恥とは思わないし、恥ではありません」というニュアンスが伝わってまいります。同様に後半の「福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です」にも、「なぜなら」が付いています。

しかも元の文章は、前半と後半が一つになっっていますので、15節の「ですから私としては、(略)あなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。」を受けて、「というのは、福音は信じるすべての人に救いをもたらす神の力です」というニュアンスが伝わってまいります。

もう一つ、パウロが語った「福音」と訳されたことばですが、元々は「良き知らせ」の意味です。それがキリスト教会によって、主イエス・キリストによって現された出来事の意味で、語られるようになりまし。福音は、「キリストが、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと」を意味することばとして、語られています。聖歌44番に「われに聞かしめよ 主の物語 世にもたぐいなく 良き物語」とあります。まさに、主の物語(主イエスの物語)こそ福音であり、信じる

すべての人に救いをもたらす神の力である、ということになります。

三、福音には神の義が啓示され

17節を見てまいります。福音には神の義が啓示されていて、信仰に始まり信仰に進ませるからです。とあります。私共が「福音」という、人間的に見れば愚かなことばを信じ、これを反芻して行くなら、そこに神の義(神の正義)が現れています。例えば、皆様にとって嫌な人がいたとします。「あの人、嫌だなあ」と思うことではありません。そういう時は「嫌だなあ」と思って終わらないうでください。また、「嫌だなあ」と思っている自分を責めないでください。

福音には神の義が啓示されて、いると知りまし。その人のためにも主イエス・キリストは贖いの死を遂げられた」と受け止めるようになります。あるいは、自分自身の性格が嫌になって、愛想を尽かしたとします。その時に、「主イエス・キリストが私を愛し、私のために贖いの死を遂げられた」と受け止めるようになります。そこに、神の義が現れているというのです。

福音は神のことばですから、私共がことば巧みに相手に伝えることはできません。ですが、福音に出会っているなら、語ることのできる性格のことばです。そういう人は、信仰に始まり信仰に進んで行きます。

ちなみに17節にも、「なぜなら」ということばが元の聖書には入っています。

前の節を受けてのことばです。「福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。なぜなら、福音には神の義が啓示されている(現れている)からです」と読むことができます。そういうわけで、皆様。人として生まれてくださり、死者の中からよみがえらされた主イエス・キリストを、いつも思っていてください。そうするなら、信仰に始まり信仰に進ませられて行きます。

四、義人は信仰によって生きる

17節後半に、「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。とあります。パウロは3章10節で「義人はいない。一人もない」と、これも旧約から引用して語りました。さらには3章20節で、「人はだれも、律法を行うことによって神の前に義と認められない」と語り、23節、24節で「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、義と認められるからです。」と語っています。

神の義は、私共生まれながらの人間が獲得できるものではなく、福音により与えられるものであると語っています。これが、パウロの語った「義人は信仰によって生きる」の意味のようです。